



Press Release

2023年7月6日

※2023年6月26日にドイツ・ヘンケル本社が発表した[プレスリリース](#)の日本語訳版です。

パイオニア精神とイノベーション力が成功の鍵 創業 100 周年を迎えたヘンケルのアドヒーズ テクノロジーズ (接着技術) 事業部門

デュッセルドルフ – 100 年前の 6 月 26 日、ヘンケルは周辺の関連企業向けに接着剤ソリューションを販売しました。自社の洗濯用洗剤のパッケージに使用する接着剤の開発に端を発し、今や 800 以上の産業分野で先進的なソリューションを展開しています。世界をリードするヘンケルの接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤は、多くのコンシューマーや産業向け製品にとって欠かせない存在となっています。ヘンケルの接着技術事業部門は、お客様のビジョンを共有し、サステナビリティ、モビリティ、デジタル化といった分野での画期的なイノベーションを実現します。

アドヒーズ テクノロジーズ(接着技術)部門担当取締役副社長のマーク・ドーンは、「この 100 年、ヘンケルはパイオニア精神と革新的な強みを生かして、接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤の生産を手掛ける世界最大のメーカーとなりました。ヘンケルが生み出す価値は、10 万以上の産業界のお客様や、数百万人に及ぶコンシューマーに寄与しています。世界中のあらゆる業界で価値を創出するための次のステップは、循環型社会を実現し二酸化炭素排出量を削減するために必要な持続可能なソリューションを開発することです。現在、ヘンケルはお客様と連携し、課題をチャンスに変え、製品やソリューションの革新に取り組んでいます」と述べています。

ヘンケルの接着技術事業部門が「必要は発明の母」を体現したことを機に、100 年にわたる成功の歴史が幕を開けました。第一次世界大戦後、ライン河畔のルール地方が占領されたことにより、ヘンケルの本拠地であるデュッセルドルフでは、自社製品である洗剤のパッケージに必要な接着剤が不足していました。そこでヘンケルは、1922 年、紙材や段ボール、パッケージに使う社内向けの接着剤の開発と生産に着手しました。自社の接着剤工場の建設と稼働開始に伴い、1923 年 6 月 26 日には、周辺の関連企業向けに接着剤の販売を開始しました。最初に発売されたのは、塗装用接着剤 Mala(マラ)や壁紙のり Tapa(タパ)といったいずれもジャガイモ粉をベースにした製品でした。

話題の尽きない 1 世紀

接着技術事業部門は、特許発明、イノベーション力、戦略的買収を通じて世界の先陣を切ってきました。例えば、1969 年に最初に考案されたスティックのり Pritt(プリット)もその一つです。繰り出し式



のリップスティックから着想を得た発明により、50 年以上にわたりペーパークラフトに革命をもたらしました。2001 年、プリットは「宇宙品質」のお墨付きを得て、国際宇宙ステーションへと旅立ちました。

産業用セクターでは、ヘンケルの接着剤ソリューションによって、自動車、電化製品、パッケージなどの生産工程や製品設計のあり方が様変わりしました。接着技術がもたらすカスタマイズ機能は、強力な接着剤、シーリング剤、コーティング剤、熱や電気の伝導性、リサイクル可能性など多岐にわたります。1997 年には Loctite(ロックタイト)社の買収によりその機能を統合し、接着技術事業部門のビジネスを新たなレベルへと進化させました。今やロックタイトは世界最大の接着剤ブランドです。

これまでの 100 年間、ヘンケルはさまざまな方法でソリューションを提供できる力を示し、幅広い実績を積み重ねてきました。例えば 1987 年には、万里の長城の修復作業に Ceresit(セレスィット)が使われました。2015 年には、あごひげ部分が破損したツタンカーメンの黄金マスクを修復するため、特殊な接着剤を開発しました。

マーク・ドーンは、「私たちは、接着技術事業部門が築き上げた 100 年に及ぶ栄光の歴史を誇りに思っています。この 100 年を振り返ると、技術的なノウハウや市場に関する深い専門知識を絶えず培ってきたことがありありと感じられます。イノベーションを重ね目覚ましい成果をあげてきたこれまでの力強い歴史を糧に、接着技術事業部門が引き続き歴史の担い手として次なるソリューションを生み出すことができるよう、大いに期待しています」と述べています。

こちらの[動画](#)では、ヘンケルの接着技術事業部門における 100 年間の主な出来事と歩みをまとめました。ぜひご覧ください。

インパクトのある持続可能なソリューションで世界をリードする

現在、接着技術事業部門のイノベーション活動では、お客様にとって持続可能なソリューションの開発を重視しています。再生可能な原材料またはリサイクルされた原材料をベースとして、ライフサイクル全体で生産時と使用時の資源効率を高められる製品の開発に継続的に取り組んでいます。さらにヘンケルは、例えばリサイクル可能なパッケージや消費財、修理して再利用できる日用品など、より幅広い製品ラインナップを提供しています。

2022 年、接着技術事業部門はそのイノベーション力を一段と高めるため、デュッセルドルフの拠点にインスピレーションセンターを開設しました。この最先端のイノベーションセンターでは、30 以上に及ぶ実験室で、650 名を超えるヘンケルの専門職員が、接着剤、シーリング剤、機能性コーティングの効果的かつ持続可能なソリューションの開発に取り組んでいます。また、接着技術事業部門全体の技術ラインナップを提示し、800 以上の産業分野のお客様との連携強化を図るための、グローバル・カスタマーセンターとしての役割も果たしています。2023 年には、上海でもグローバル・イノベーションセンターの開設を段階的に進める予定です。

ヘンケルについて

ヘンケルはブランド、イノベーション、テクノロジーにより、産業およびコンシューマー向け事業において世界中の市場をリードしています。アドヒーズテクノロジーズ(接着技術)事業部門は接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤市場のグローバルリーダーとなっています。コンシューマーブランドは特にヘアケアやランドリー&ホームケアの分野において、世界中の市場やカテゴリーをリードする地位を維持しています。ヘンケルには3つの強力なブランド、LOCTITE(ロックタイト)、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)があります。2022年度の売上高は220億ユーロを超え、営業利益はおよそ23億ユーロでした。ヘンケルの優先株は、ドイツ株式指数DAXのリストに入っております。ヘンケルには長いサステナビリティの歴史があり、具体的な目標を掲げた明確なサステナビリティ戦略を推し進めます。1876年に創業したヘンケルは現在、世界に50,000名以上の社員を擁し、多様なチームが強固な企業文化、共通の価値観とヘンケルの社員をひとつにまとめる共通基盤である企業目的「Pioneers at heart for the good of generations」の元に結束しています。さらなる情報はこちら www.henkel.com をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

コンタクト

Sebastian Hinz

Phone: +49 211 797-85 94

Email: sebastian.hinz@henkel.com

—本件に関する報道関係者からのお問合せ先—
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美
Mobile:070-1548-4840 /TEL:03-5783-1219 (広報室代表)
Email: hidemi.onoo@henkel.com